

金太郎だより



2024年1月20日号

社会福祉法人金太郎の家

〒699-0501

出雲市斐川町字頭 1511-1

☎ 0853-72-5110

FAX 0853-72-5192

✉ honbu@kintarounoie.jp

HP「金太郎の家」

facebook「金太郎の家」



9月18日
敬老会
声楽コンサート



9月19日
敬老会
マジックショー



9月20日
敬老会
片寄社中様

百歳 Aさんの戦争体験

理事長 阿食 かをる

旧年中は、格別なご高配を賜り、誠にありがとうございました。本年も変わらぬご指導、ご支援のほどお願い申し上げます。

令和6年は、能登半島を震源とした大地震が発生、大きな自然の脅威の前に、人間の非力を思い知らされた大変な幕開けとなりました。被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

ところで、遡りますが、去年の敬老週間の9月18日、デイサービスに通って下さっているAさんの百歳のお祝いを、ささやかですがさせて頂きました。

「戦争にもいかれ、また戦後は地域の為、ご家族のために尽くしてこられたAさんに、心より敬意を表します。」と挨拶しますと、Aさんは「ああ、私は戦争にも行つたし、戦後は、土木委員長や空港周辺対策委員長、宍道湖漁協の会長と、押されて地域のほとんどの役をやってきたよ。八十三歳まで宍道湖に出て漁もやっていました。」と、話されました。

八十三歳まで船に乗り漁をされていたことにも驚きましたが、その後が続いて話された戦争体験に、大きな衝撃を受けました。「支那（中国）に、陸軍として三年間行っていました。何千人の軍隊が行軍すると、後には、かえる一匹、虫一匹いなくなりました。草一本もなく、不毛の地となりました。井戸は、兵士が競って飲むので枯果ててしまいました。本土より武器は送ってきても、水や食料、衣類などの生活物資は届かず、必要なものは、現地調達せねばならず、兵士は皆腹を空かし、虫でも草でも口に入れられるものは、何でも食べました。暖房もありませんから、現地の家を壊して燃やし、暖を取らざるを得ませんでした。現地の人に悪いと思いがちでも、我々兵士も生きるために必死でした。」そして「戦争は悲惨です。絶対にしたらいけませんわ。勝つても負けても、何もないことありません。」と、語気を強めて締めくくられました。こんな貴重な話をしてくださる戦争の生き証人も少なくなりました。

しかし、今まさに起こっているウクライナやパレスチナの戦争、その状況が、映像をとおしてリアルタイムで、送られてきます。生活の場であった家が、ビルが爆撃によって破壊され、尊い命が数えきれないほど奪われていく姿を見るにつけ、Aさんの話と重ねながらこの悲惨な戦争が一日も早く終わってほしいと願わずにはいられません。



アクティブ DAY いぶき月曜サービス提供時間変更のお知らせ
 ◆ 1月より、アクティブ DAY いぶき月曜のサービス提供時間が変更となりました。
 【旧】(月) 午前コース 9:15~12:30
 午後コース 13:25~16:30
 【新】(月) 1日コースのみ 9:15~16:30
 ご迷惑をおかけしますが、ご理解の程よろしくお願いいたします。

その他のお知らせ
 ◆ 10/5 (木) 第三者委員会を開催しました。
 ◆ 12/11 (月) 令和5年度第3回理事会を開催しました。

御礼
 ◆ 永徳寺花園会女性部様より、布巾の寄付をいただきました。
 ◆ ご利用者様、ご家族様、地域の方々より多大なる寄附及び季節の果物や花々等、差し入れていただきました。感謝申し上げます。

《金太郎の家なごみ川柳会作品》 R5・1月
 兼題 「手」「薬」「自由吟」

辰年で飛躍一年いい年に	金森 武夫
獄度なく苦楽越えた手じつと見る	見越 子工子
希望と言う友達春は待つている	故・川上 京香
頂いた歳をピンクに暮らした	故・勝部 未奈
指先のしわとしわとの摩擦越	長瀬 良子
数々の話題をくれた隠岐の海	三島 道夫
カニツアー横歩きして帰ります	原 明子
薬膳で養生してる弱い亀	坂本 章江
約束は守るつもり薬指	嘉藤 敬
助け合いも戦争もこの手から	西 博美
こけそうになり手を貸してくれた人	松本 文子先生

金太郎の家 秋冬イベント ~ご協力ありがとうございました!~

秋・冬とたくさんの方にご協力いただき、様々なイベントを開催しました。みなさんの笑顔あふれる1日となりました!

12月21日 さざんか忘年会

12月26日 もちつき

12月14日 恩田様 そば打ち

11月25日 焼い屯会

12月25日 クリスマス

11月23日 よざこいチーム 友輪舞人様

11月3日 麦の市

1月4日 新年初詣

12月23日 クリスマス会 VIVIダンス様

庄原小学校福祉学習
「車いす体験」



先日、庄原小学校3年生を対象とした「車いす体験」に指導員として参加しました。

これは出雲市社会福祉協議会様の福祉学習活動の一環として開催されました。

車いすの操作方法、介助方法を指導しながら、実際に車いすを操作する人、乗る人を体験してもらいました。特に乗る人を体験することで、どのような気持ちになり、何をすれば良いのかということを大切に指導しました。体験中は、興味深く真剣に学が姿がとても印象的でした。

その後、感想文をいただき、その中で「困った人がいた時は助けたい」等、うれしい感想がたくさんありました。この経験が、日常生活において少しでも役立つことを願っています。



秋の金太郎畑はさつまいも。顔くらい大きいものもありました。細身のもの、みなさんと一緒に焼く会で、ほくほくあたたかおいしくいただきました。

冬の金太郎畑は白ねぎ。今年も太い！長い！立派な白ねぎをたくさん収穫しました。

災害備蓄を考える

ローリングストックについて知ろう！

12月末の職員研修では、当法人のBCP(業務継続計画)について研修しました。これは、自然災害やパンデミックが発生した場合も職員や利用者の方の生命や安全を維持し、重要業務を継続するための計画及び訓練のことです。

その後、能登地震が発生し、コロナ等感染症も収まる様子がありません。改めて災害等の備えの重要性を認識しました。

そこで、自然災害BCPから「ローリングストック」についてご紹介します。

備蓄食品の目安=家族の人数×最低3日分

備蓄食品は、大きく分けて「非常食」と「日常食品」の2種類あります。主に災害時に使用する「非常食」だけでなく、日常で使用し、災害時にも使えるものを「ローリングストック」としてバランス良く備えることが大切です。

非常食	日常食品
災害時の備えとして用意し、 主に災害時に使用するもの (場面に依りて日常でも使用可能)	日常から使用し、かつ、 災害時にも使用するもの 【ローリングストック】

ローリングストックとは？

普段の食品を少し多めに買い置きしておき、賞味期限の古いものから消費し、消費した分を買い足すことで、常に一定量の食品が家庭で備蓄されている状態を保つための方法です。

〈メリット〉

- ・賞味期限切れを防げる
- ・食べ方、調理方法のシミュレーションができる
- ・なじみのある食品を非常時に食べることができる
- ・費用、時間の面で普段の買物の範囲内で行える
- ・買い置きのスペースを少し増やすだけで済む



いざという時のために、災害備蓄について考えてみましょう。

参考 農林水産省 HP <https://www.maff.go.jp/index.html> 味の素株式会社 HP <https://www.ajinomoto.co.jp/>

特集！ 手づくりこんにやく製造工程

麦の市の大人気商品といえば、手づくりこんにやく。なぜ、あのごつごつとしたこんにやく芋からびるびるこんにやくができてくるのか？今回は製造工程をご紹介します！

- ①こんにやく芋を洗う
- ②皮むき
- ③カット・茹でる
- ④すりおろす
- ⑤数時間置く
- ⑥凝固剤を加える
- ⑦かき混ぜる
- ⑧型に入れる・切断
- ⑨茹で固める
- ⑩あく抜き
- ⑪完成

1~2時間 水酸化カルシウム OR 炭酸ナトリウム

ゆるま湯と一緒に

素早く！

1時間放置 その後、適度なサイズに切る

何度か水をかえ、一晩水にさらす

いかがでしたか？

ひとつひとつの工程に時間をかけて、約3日間の作業となります。その分、手づくりならではの歯ごたえのあるおいしいこんにやくができていきます。ぜひ、機会があれば購入してみてください。

金太郎の家の新しい仲間を紹介します！



河角 沙織 (かわすみ さおり) 通所

今年1月から働かせて頂いています河角といいます。以前は老人保健施設に勤務していました。住まいは雲南市の木次町です。斐川町のことは分からないことも多いですが、ご利用者のみなさまが色々な話を聞かせて下さり喜んでます。早くお一人お一人の顔と名前を覚えていきたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。



江角 美紀恵 (えすみ みきえ) 訪問事務

令和5年11月、ヘルパーの事務職員として入職しました。「金太郎の家」のような地域に根付いた職場で働けると嬉しく思ひ、ここで働くことにチャレンジしました。長年、県外の医療現場で勤務しており、違う業種での仕事に戸惑いはありますが、介護や地域連携は必須でしたので、少しでも経験を活かし役に立てればと思ひています。働いてみて、利用者様や職員のみなさん一人一人がその人らしく動かれており「笑顔」が素敵だなと感じています。私も、魅力ある働き方が出来るように努力をしてみたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。



古川 夏江 (ふるかわ なつえ) 厨房

健康な生活をしたい再度働くことを決めた時、以前勤めていた「金太郎の家」の所長様から誘ひがあり、あたたかい気づかいをして頂けるこの職場を選びました。あとどれだけ働けるかわかりませんが、食事のお手伝ひをさせて頂き、残りの人生を生きていきます。どうぞよろしくお願ひ致します。



杉本 美鈴 (すぎもと みすず) 厨房

こんにちは。金太郎の家に勤めて約2か月が経ちました。縁があって皆さんと一緒に仕事が出来ると嬉しく思ひます。厨房では、楽しく仲良くお仕事させて頂いています。家では、孫の成長を楽しみながらパワーをもらい日々を楽しく過ごしているところです。(今年の4月で小学生になります) 人生色々な出会いがある事を大切にし、無理せずゆったりとした気持ちを持って働いていきたいと思ひます。どうぞ宜しくお願ひ致します。

第15回 運営推進会議報告

令和5年10月20日、ご利用者様、ご家族様、地域住民様、有識者様に来ていただき、デイサービス運営推進会議を開催しました。現在の利用状況、デイサービスの行事・活動報告、苦情・ヒヤリハット報告また島根県老人福祉施設協議会研修大会にて事例発表したさざんかの取組「働くデイ」について報告しました。

意見交換では日頃、ご利用者様やご家族様が感じていることをお話しいただきました。特にさざんかの取組「働くデイ」については「その人に合った仕事を見つけることは良いことですね」、「デイサービスに特徴があることは、デイサービス参加のきっかけになりますね」等、あたたかいご意見をいただきました。一方で、苦情・ヒヤリハット報告に対してアドバイスをいただきました。

いただいた意見を参考に、より良い金太郎の家となる様、職員一同取り組んで参りたいと思ひます。